

令和6年度 吹田市商工業実態調査 調査票(案)

吹田市では、平成28年(2016年)3月に「吹田市商工振興ビジョン2025」を策定し、中小企業活性化支援や商店街等の魅力向上などに取り組んできました。

「吹田市商工振興ビジョン2025」は、令和7年度(2025年度)に計画期間の終了を迎えます。そこで、次期計画の策定に向け、アンケート調査を行うこととなりました。

本調査により、吹田市内事業者の現状や支援施策のニーズを把握し、今後の商工振興施策を検討するための基礎資料といたします。

なお、本調査への御回答内容は、個票のまま公表することではなく、統計的に処理しますので、調査目的以外に利用することはありません。

事業所の廃止や吹田市外への移転等により、御回答いただけない場合は、調査票にその旨を朱書きで記入の上、御返送ください。

令和6年(2024年)9月

吹田市 地域経済振興室

回答に当たってのお願い

- ・令和6年9月1日を基準日としてお答えください。
- ・貴事業所の代表者又はそれに代わる方がお答えください。
- ・**令和6年9月30日**までに、次の1又は2のどちらかの方法で回答してください。

1	本調査票に記入	・回答を直接記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、御投函ください。
2	WEBサイトから	・右の二次元コード、又は、下記URLからWebページにアクセスし、御回答ください。 URL: https://src.webcas.net/form/pub/**** ※回答には下のIDの入力が必要です。 あなたのID ⇒ <input type="text" value="*****"/> ※本調査票は返送不要です。

【お問い合わせ】

株式会社サーベイリサーチセンター
大阪事務所(調査委託先)
フリーダイヤル: 0120-186-1
(開設時間: 平日9時~12時/13時~17時)

【調査の実施主体】

吹田市 都市魅力部 地域経済振興室

■貴事業所(この調査票が届いた事業所)の概要について御記入、又は、該当する番号を選んでください。

事業所名 (店舗名・屋号) 【任意】	(フリガナ)	所在地 【任意】	吹田市	
経営形態 (※1)	1. 法人 2. 個人			
代表者年齢 (※1)	1. 39 歳以下 2. 40 代 3. 50 代 4. 60 代 5. 70 代 6. 80 歳以上			
代表者の 就任経緯 (※1)	1. 創業者(本人) 3. 社内役員・従業員からの昇級 5. 外部招へい 6. その他()		2. 創業者親族(代目) 4. 取引先・親会社からの派遣	
事業所数 (※1)	【本社・本店等を含む全事業所数】			事業所
資本金 (※1)	1. 資本金なし 3. 100 万円以上 300 万円未満 5. 500 万円以上 1,000 万円未満 7. 5,000 万円以上1億円未満 9. 3億円以上		2. 1 円以上 100 万円未満 4. 300 万円以上 500 万円未満 6. 1,000 万円以上 5,000 万円未満 8. 1億円以上3億円未満	
従業者数 (※1)	【市外を含む全事業所の従業者数】(役員等含む)			人
事業所区分	1. 本社・本店等 2. 支社・支店等 3. その他()			
事業所従業者数 ※右のそれぞれにつき、 人数を御記入ください。	【全従業者数】(役員等含む)			人
	【全従業者のうち家族従業者の人数】			人
	【全従業者のうちパート・アルバイト・契約社員・派遣社員等の人数】			人
	【全従業者のうち 65 歳以上の人数】			人
	【全従業者のうち女性の人数】			人
	【全従業者のうち女性管理職の人数】			人
	【全従業者のうち障がいのある人の人数】			人
	【全従業者のうち子育て・介護等により勤務時間に配慮の要する人の人数】			人
事業所業種 ※最も当てはまる番号に 一つ〇印をお付けください。	1. 建設業 2. 製造業 3. 電気・ガス・熱供給・水道業			
	4. 情報通信業 5. 運輸業、郵便業 6. 卸売業 7. 小売業			
	8. 金融業、保険業 9. 不動産業、物品賃貸業			
	10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業			
	12. 生活関連サービス業、娯楽業 13. 教育、学習支援業			
	14. 医療、福祉 15. 複合サービス事業 16. その他のサービス業			
	17. その他()			
	事業所開業年	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和()年		

事業所 年間売上高 <small>※直近年度について 該当するものを選んで ください。</small>	1. 売上なし	2. 1円以上100万円未満
	3. 100万円以上300万円未満	4. 300万円以上500万円未満
	5. 500万円以上1,000万円未満	6. 1,000万円以上5,000万円未満
	7. 5,000万円以上1億円未満	8. 1億円以上5億円未満
	9. 5億円以上10億円未満	10. 10億円以上

※1 貴事業所を含む、事業者（企業）全体のことについて御回答ください。

問1 貴事業所が吹田市に立地していることによるメリットについて、該当するものを選んでください。（複数選択可）

1. 交通の便が良い	2. エリアのイメージが良い
3. 自然環境が良い	4. 地価や借地料等が安い
5. ビジネスホテル等の宿泊施設が多い	6. まちに活気がある
7. 人口が多く販売先・顧客を獲得しやすい	8. 競合相手が少ない
9. 事業所間の交流等による情報が得やすい	10. 関連企業が集積しており受発注しやすい
11. 原材料等を入手しやすい	12. 大学・研究機関等が集積しており連携しやすい
13. 行政や関係団体等の支援が充実している	14. 労働力を集めやすい
15. 特になし	16. わからない
17. その他()	

問2 貴事業所が吹田市に立地していることによるデメリットについて、該当するものを選んでください。（複数選択可）

1. 交通の便が悪い	2. エリアのイメージが悪い
3. 自然環境が悪い	4. 地価や借地料等が高い
5. ビジネスホテル等の宿泊施設が少ない	6. まちに活気がない
7. 人口が少なく販売先・顧客を獲得しにくい	8. 競合相手が多い
9. 事業所間の交流等による情報が得にくい	10. 関連企業が集積しておらず受発注しにくい
11. 原材料等を入手しにくい	12. 大学・研究機関等が集積しておらず連携しにくい
13. 行政や関係団体等の支援が充実していない	14. 労働力を集めにくい
15. 特になし	16. わからない
17. その他()	

問3 貴事業所の強みについて、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|---------------------|-------------------------|
| 1. 立地条件がよい | 2. 取引先、顧客に近い | 3. 固定客が多い |
| 4. 競合する企業が少ない | 5. 企業間ネットワークがある | 6. 営業時間が長い |
| 7. 柔軟な対応ができる | 8. 作業効率がよい | 9. 納期が短い |
| 10. 年中無休である | 11. 知名度が高い | 12. 営業力が強い |
| 13. サービスの質が良い | 14. 独自技術を持っている | 15. 資金力がある |
| 16. 価格競争力 | 17. 商品の品揃えやサービスが豊富 | 18. 企画・デザイン・開発力が高い |
| 19. 広告・宣伝力が高い | 20. 安定したサプライチェーンがある | 21. 自社ブランド製品、オリジナル製品がある |
| 22. 情報セキュリティ対策を徹底している | 23. ITを有効活用できている | 24. 特にない |
| 25. わからない | 26. その他() | |

問4 貴事業所の主要な販売先について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 一般消費者 | 2. 吹田市内の事業所 |
| 3. 大阪府内(吹田市外)の事業所 | 4. 国内(大阪府外)の事業所 |
| 5. 海外の事業所 | 6. 特にない |
| 7. その他() | |

問5 貴事業所の主要な仕入れ先について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 一般消費者 | 2. 吹田市内の事業所 |
| 3. 大阪府内(吹田市外)の事業所 | 4. 国内(大阪府外)の事業所 |
| 5. 海外の事業所 | 6. 特にない |
| 7. その他() | |

問6 貴事業所において取り組んでいる販路開拓や集客の方法について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問営業 | 2. チラシ等の販促ツールの配布 |
| 3. 利用客等による口コミ | 4. 取引先、同業者、金融機関等からの紹介 |
| 5. 自社ホームページの活用 | 6. ネット通販サイトの活用 |
| 7. ビジネスマッチングサイトの活用 | 8. 展示会・見本市等への出展 |
| 9. ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用 | 10. オンライン展示会・見本市等への出展 |
| 11. 新規の販路開拓や集客の必要がない | 12. 特にない |
| 13. その他() | |

問7 貴事業所の直近3年間の売上高の動向について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | | |
|-------------------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 増加傾向
→ 問7-1、問7-4へ | 2. 減少傾向
→ 問7-2、問7-3、問7-4へ | 3. 横ばい
→ 問7-4へ |
|-------------------------|------------------------------|-------------------|

※ 問7で「1. 増加傾向」と回答された方にお伺いします。

問7-1 売上高の増加要因について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 景気変動 | 2. 市場価格の変動 |
| 3. 規制緩和 | 4. 消費者ニーズの変化 |
| 5. インバウンド消費 | 6. ネット通販サイトの活用 |
| 7. 製品・サービスの差別化 | 8. 広告・宣伝の成功 |
| 9. 製品・サービスの質の向上 | 10. 経営の合理化 |
| 11. 事業の多角化 | 12. 新製品開発 |
| 13. 生産設備の新設・増設 | 14. 営業時間の変更 |
| 15. M&A 等による事業拡大 | 16. わからない |
| 17. その他() | |

※ 問7で「2. 減少傾向」と回答された方にお伺いします。

問7-2 売上高の減少要因について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 景気変動 | 2. 市場価格の変動 |
| 3. 規制強化 | 4. 消費者ニーズの変化 |
| 5. 労働力不足 | 6. 自然災害 |
| 7. 広告・宣伝の失敗 | 8. サービスの質の変化 |
| 9. 資金繰りの悪化 | 10. 事業の多角化 |
| 11. 同業者との競争関係 | 12. 営業時間の変更 |
| 13. 事業譲渡等による事業縮小 | 14. わからない |
| 15. その他() | |

問7-3 問7-2で選んだものにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|------------------|--|
| 1. 影響の大きいものはない | |
| 2. 影響の大きいものがある → | 問7-2で選択した選択肢番号のうち、影響が大きいものをすべて記入してください |
| () | () |

問7-4 前年比較による売上高の増減幅について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 1割未満の増加 | 2. 1～3割の増加 |
| 3. 4～5割の増加 | 4. 5割超の増加 |
| 5. 1割未満の減少 | 6. 1～3割の減少 |
| 7. 4～5割の減少 | 8. 5割超の減少 |
| 9. わからない | |

問8 貴事業所における借入金の状況について、該当するものを選んでください。
(複数選択可)

1. 金融機関からの融資を受けている 2. 金融機関以外からの借入れがある 3. 金融機関から融資を断られている 4. 返済の目途が立たないため借入れができない 5. 借入金は必要ない 6. その他()	} → 問8-1、8-2へ } → 問9へ
---	--

※ 問8で「1. 金融機関からの融資を受けている」「2. 金融機関以外からの借入れがある」と回答された方にお伺いします。

問8-1 融資元について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 日本政策金融公庫	2. 銀行
3. 信用金庫・信用組合	4. 貸金業者 (消費者金融、クレジットカード会社等)
5. その他()	

問8-2 融資元への返済状況について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

1. 順調に返済している	2. 条件変更して返済している
3. 苦しいがなんとか返済している	4. 滞っている

問9 貴事業所における前年度と比較した従業員数について、該当するものを選んでください。
(1つを選択)

1. 増加している	2. 横ばいである	3. 減少している
-----------	-----------	-----------

問10 貴事業所における今年度(令和6年度)の新卒採用又は中途採用の状況について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

1. 採用した → 問10-1、問10-2へ	2. 採用はしていない → 問11へ
-------------------------------	---------------------------

※ 問10で「1. 採用した」と回答された方にお伺いします。

問10-1 採用した人数を記入してください。

(正社員)	(パート)	(契約社員)	(派遣社員)
人	人	人	人

問10-2 採用した理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 事業拡大・業務拡大	2. 退職者の補充	3. 正社員から他の雇用形態への切替
4. 専門職の必要性	5. その他 ()	

問11 貴事業所における幅広い人材の募集・採用状況について、該当するものを選んでください。
(それぞれ1つを選択)

幅広い人材	1. 採用しており、さらに増やしていきたい	2. 今は採用していないが、採用していきたい	3. 今は採用しているが、今後募集する予定はない	4. 採用しておらず、今後も募集する予定はない	5. 知らない・わからない
①シニア層(主に65歳以上)	1	2	3	4	5
②障がいのある人	1	2	3	4	5
③子育て・介護等により勤務時間に配慮を要する人	1	2	3	4	5
④外国人	1	2	3	4	5
⑤副業人材	1	2	3	4	5
⑥単発アルバイト・スポットアルバイト	1	2	3	4	5

問12 貴事業所の人材に求める知識・能力について、該当するものを選んでください。
(複数選択可)

1. 司法・法務	2. 経営力	3. 語学力
4. 会計・計数管理	5. 税務	6. 金融
7. 営業・マーケティング	8. IT知識	9. 建築・土木・不動産
10. 医療・保健・福祉	11. 企画力	12. 専門技術
13. 特にない	14. その他()	

問13 貴事業所の人材育成方法について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 事業所が費用を負担する社外研修 (中小企業大学校等)	2. 計画的・系統的なOJT (業務遂行の過程内において行う教育訓練)
3. 計画的・系統化されていないOJT	4. 定期的な面談(個別評価・考課)
5. 人事異動	6. 社内資格・技能評価制度等による動機づけ
7. 副業・兼業を認めている	8. 特に行っていない
9. その他()	

問 14 貴事業所において人材が不足している分野や部門について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 製造・加工 | 2. 開発・技術 | 3. 営業 |
| 4. 販売 | 5. マーケティング | 6. 品質管理 |
| 7. 経営管理 | 8. 人事 | 9. 総務 |
| 10. 法務 | 11. 広報、IR | 12. 幹部・幹部候補 |
| 13. 特にない | | |
| 14. その他() | | |

問 15 貴事業所における事業の拡大や新規参入などに関して、過去5年間に着手済、あるいは今後5年間に着手予定の状況について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 多角化 | 2. 新規事業参入 |
| 3. 新技術導入 | 4. 新製品・新商品の市場導入 |
| 5. 業種転換 | 6. 業態開発・業態転換 |
| 7. 特にない | 8. その他() |

問 16 貴事業所における新製品・新技術等の研究開発の実施状況について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 実施している | 2. 今後実施する予定 | →問 16-1 へ |
| 3. 実施する予定はない | 4. わからない | →問 17 へ |

※ 問 16 で「1. 実施している」「2. 今後実施する予定」と回答された方にお伺いします。

問 16-1 貴事業所における新製品・新技術等の研究開発分野について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 建築・建造物関係 | 2. 住宅・住設機器関係 | 3. 食品関係 |
| 4. 機械・金属関係 | 5. 化学・繊維関係 | 6. エネルギー関係 |
| 7. 金融・保険関係 | 8. 教育関係 | 9. 福祉・健康・医療関係 |
| 10. 情報処理関係 | | |
| 11. その他() | | |

問 17 貴事業所における主要な連携先(業務提携や産官学金民の共同、協働)の所在について、①から⑧のそれぞれに対し、該当するものを選んでください。(それぞれ1つを選択)
また、連携による成功事例等があれば、具体的に御記入ください。

	1. 吹田市内	2. 大阪府内 (吹田市外)	3. 国内 (大阪府外)	4. 海外	5. 該当 なし
①他の事業所(同業種)	1	2	3	4	5
②他の事業所(異業種)	1	2	3	4	5
③大学等教育機関	1	2	3	4	5
④研究機関	1	2	3	4	5
⑤金融機関	1	2	3	4	5
⑥行政機関	1	2	3	4	5
⑦その他支援機関	1	2	3	4	5
⑧住民・消費者モニター等	1	2	3	4	5

具体的な事例

例:連携先の開発・販売に関するネットワーク、ノウハウを活用でき、売上増につながった
例:消費者モニタリングと商品開発システムとの連動により、ニーズ・シーズの合致する開発を実現

問 17-1 貴事業所における業務提携や外部連携を行うことの課題について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 何から始めてよいかわからない | 2. 提携先・連携先の見つけ方がわからない |
| 3. 責任の所在が不明確になる | 4. 連携事業者の間での意見の対立や主導権争い |
| 5. 連携事業者のコンセンサスに時間がかかる | 6. 機動力や実行スピードが停滞する |
| 7. 自社技術の流出の懸念がある | 8. 株主からの経営への問題提起 |
| 9. 特になし | 10. その他() |

※問 17 で「1. 吹田市内」「2. 大阪府内(吹田市外)」「3. 国内(大阪府外)」「4. 海外」と回答された方にお伺いします。

問 17-2 貴事業所において、問 17 のような業務提携や外部連携に至った背景・きっかけについて、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 事業拡大(自社で携わる分野をさらに深めたいため) | 2. 新規事業参入(自社内で賄えない領域であるため) |
| 3. 技術力・開発力の強化 | 4. 新技術の導入 |
| 5. 経営の効率化 | 6. 営業力・販売力の強化 |
| 7. 経営資源・ノウハウの補完 | 8. 需要創造 |
| 9. 企業活動の変容・変革 | 10. その他() |

※問 17 で「5. 該当なし」と回答された方にお伺いします。

問 17-3 外部との連携を全くしていない理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 連携の仕方がわからない | 2. 適切な連携先がない |
| 3. 連携の必要がない | 4. その他() |

問 18 事業所の近隣住宅地からの事業活動に対する苦情等について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 騒音 | 2. 振動 | 3. 臭気 |
| 4. 交通量の増加 | 5. 景観 | 6. 従業員の行動 |
| 7. 特にない | 8. わからない | 9. その他() |

問 19 IT活用※への取組・実施状況について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. オンライン営業・受注(ネット通販含む) | 2. キャッシュレス決済対応 |
| 3. グループウェアの導入 | 4. テレワーク |
| 5. 生産の自動・省力化 | 6. 社内管理業務のIT化 |
| 7. IT活用の新製品や新事業開発 | 8. 採用活動のIT化 |
| 9. 外部企業等とのデータ共有・連携 | 10. ホームページ・SNSでの情報発信 |
| 11. e-ラーニング | 12. 情報セキュリティ対策 |
| 13. 実施していない | 14. その他() |

※IT活用とはインターネット・パソコン・スマートフォンなど、デジタル技術(情報技術)を活用して業務を効率化させることを指します。

問 20 貴事業所内のデジタル化*について、どのように考えているかについて、該当するものを選んでください。(1つを選択)

1. 必須と考えており、事業所内全体に導入している
2. 必要性を感じており、事業所内の一部で導入している
3. 必要性を感じており、今後進めていく(まだ取り組んではいない)
4. 必要性を感じるが、問題があり、進めるのが困難
5. あまり必要性を感じない
6. 特に考えていない

※デジタル化とは PC 等のコンピューター上で動くソフトウェアやアプリ、システム等を活用して、アナログをデジタルに置き換えることを指します。

問 21 貴事業所での、DX*推進の取組状況について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

1. している→**問 21-1**へ
2. 取り組んでいない→ **問 21-2**へ

※DXとはデジタル技術やツールを導入すること自体ではなく、データやデジタル技術を使って、顧客目線で新たな価値を創出していくことを指します。

※ 問 21 で「1. している」と回答された方にお伺いします。

問 21-1 貴事業所において、DX 推進により効果のあった取組について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 新事業の確立 | 2. 新製品の開発 |
| 3. 新技術の開発 | 4. 新規取引先・新規受注・新規顧客の獲得 |
| 5. 売上高の増加 | 6. 利益の増加 |
| 7. 業務・生産の効率化・コスト削減 | 8. 新たなネットワークの獲得 |
| 9. 人材の採用・育成 | 10. 企業イメージ・知名度向上 |
| 11. 社内の活性化 | 12. 支援施策の活用 |
| 13. 特にない | 14. その他() |

※ 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答された方にお伺いします。

問 21-2 DX推進に取り組んでいない理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 何から始めてよいかわからない | 2. 予算の確保が難しい |
| 3. 時間の確保ができない | 4. 具体的な効果や成果が見えない |
| 5. DX 推進に関わる人材が足りない | 6. DX に取組もうとする企業文化・風土がない |
| 7. 経営者の意識・理解が足りない | 8. 情報セキュリティの確保が難しい |
| 9. ビジョンや経営戦略、ロードマップがない | 10. 既存システムがブラックボックス化している |
| 11. 必要性を感じていない | 12. 特に考えていない |
| 13. その他() | |

問 22 貴事業所の、地域の商店街組織、商工会議所、地域の企業団体、業界団体などの加入状況について、該当するものを選んでください。(それぞれに1つを選択)

	1. 加入している ↓ 問22-1 ↑	2. 以前は加入していたが、 退会した↓ 問22-2 ↑	3. 加入していない ↓ 問22-3 ↑	4. 加入していないが、 加入したい↓ 問22-4 ↑
①振興組合等の商店街組織	1	2	3	4
②商工会議所	1	2	3	4
③その他地域の企業団体	1	2	3	4
④業界団体	1	2	3	4
⑤その他()	1	2	3	4

※問 22 で「1. 加入している」と回答された方にお伺いします。

問 22-1 加入の理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 集客につながる	2. 団体等が行う事業に魅力がある
3. 地域貢献できる	4. 加入義務がある
5. 業種・業界の維持・発展のため	6. 活動内容にメリットがあるため
7. 事業活動の拡大につながる	8. 経営方針による
9. 情報交流の機会となる	10. 理由は特にない
11. その他()	

※問 22 で「2. 以前は加入していたが退会した」と回答された方にお伺いします。

問 22-2 退会した理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 集客につながらない	2. 団体等が行う事業に魅力がない
3. 会費を払いたくない	4. 経営が厳しく会費を払えない
5. 活動内容にメリットが感じられない	6. 活動内容がよくわからない
7. 経営方針による	8. 理由は特にない
9. その他()	

※問 22 で「3. 加入していない」と回答された方にお伺いします。

問 22-3 非加入の理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 近くに商店街等がない | 2. 団体等が行う事業に魅力がない |
| 3. 会費を払うのが負担 | 4. 活動内容にメリットが感じられない |
| 5. 活動内容がよくわからない | 6. 経営方針による |
| 7. 理由は特にな | 8. その他() |

※問 22 で「4. 加入していないが、加入したい」と回答された方にお伺いします。

問 22-4 加入したい理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 集客につながる | 2. 団体等が行う事業に魅力がある |
| 3. 地域貢献できる | 4. 業種・業界の維持・発展のため |
| 5. 活動内容にメリットがあるため | 6. 事業活動の拡大につながる |
| 7. 経営方針による | 8. 情報交流の機会となる |
| 9. 理由は特にな | 10. その他() |

問 23 商店街・近隣センター等を活性化させていくために必要と考えることについて、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. リーダー育成 | 2. 後継者の育成 |
| 3. 会員の協力 | 4. 行政の支援 |
| 5. コンサルタントの活用 | 6. 商店街・近隣センター等としての魅力の
発掘・開発 |
| 7. 商店街・近隣センター等間の連携・広域的
な取組 | 8. 個店の努力 |
| 9. 情報発信の強化 | 10. 地域の NPO や大学等との連携による事業
の実施 |
| 11. 地域特性・顧客のニーズに即した商店街の
再構築 | 12. イベントの実施による集客 |
| 13. 外国来街者受け入れのための環境の整備 | 14. ITの活用 |
| 15. 環境対策 | 16. 特にな |
| 17. 活性化させる必要はない | |
| 18. その他() | |

問 24 貴事業所が吹田市の施策・取組(補助金・セミナー・相談等)の情報を得る手段について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. 市報すいた | 2. 吹田市の企業訪問での案内 |
| 3. 吹田市によるメールマガジン・FAX・SNS
等の案内(市報すいた、企業訪問を除く) | 4. 吹田商工会議所の「すいた商工会議所ニュー
ース」等の案内 |
| 5. 経済団体(吹田商工会議所除く)からの案内 | 6. 他の企業や知人等からの案内 |
| 7. 吹田市のホームページ | 8. 活用する気がないので情報収集をしない |
| 9. その他() | |

問 25 貴事業所の経営上の問題点について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 事業者間の競争激化 | 2. 輸入品との競争激化 | 3. 来客数・顧客数の減少 |
| 4. ライフスタイルの変化 | 5. 周辺地域産業の衰退 | 6. 立地条件の変化
(車・人の流れの変化等) |
| 7. 受注の低迷 | 8. 資金繰り・運転資金調達 | 11. 余剰人員 |
| 9. 人材不足 | 10. 後継者難 | 14. 事業所・店舗の狭小化 |
| 12. 経費の増大 | 13. 設備の老朽化 | 17. 情報収集力不足 |
| 15. 生産性向上の取組みの遅れ | 16. 製品(商品)開発力の不足 | 20. 事業の将来展望がみえない |
| 18. 営業力の不足 | 19. 経営者の意欲低下 | 23. キャッシュレス化への対応 |
| 21. 事業又は業態転換 | 22. デジタル化による業務効率化 | 26. オンライン(ネット通販等)の
活用の遅れ |
| 24. 物流事情の変化対応 | 25. 情報セキュリティ対策の遅
れ | 29. 事業継続対策(BCP策定など)の遅れ |
| 27. 賃上げ対応 | 28. 価格転嫁が困難 | |
| 30. CSR・地域貢献への対応 | 31. 特にない | |
| 32. その他() | | |

問 25-1 問 25 で選んだものにおける新型コロナウイルス感染拡大の影響について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | |
|---|
| 1. 影響の大きいものはない |
| 2. 影響の大きいものがある → 問 25 で選択した選択肢番号のうち、影響が大きいものをすべて記入してください
() |

問 26 貴事業所の事業継続計画(BCP)策定状況について、該当するものを選んでください。
(1つを選択)

- | |
|---|
| 1. すでに策定している又は現在策定中である |
| 2. 策定を予定している(検討中を含む) |
| 3. 策定する予定はない |
| 4. 事業継続計画(BCP)について全く知らない(今回の調査で初めて認識した) |
| 5. わからない |

問 27 貴事業所の事業継続力強化計画策定状況について、該当するものを選んでください。
(1つを選択)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. すでに策定している又は現在策定中である |
| 2. 策定を予定している(検討中を含む) |
| 3. 策定する予定はない |
| 4. 事業継続力強化計画について全く知らない(今回の調査で初めて認識した) |
| 5. わからない |

問 28 持続可能な開発目標(SDGs)について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | |
|------------------------------------|
| 1. SDGs についてすでに対応・アクションを行っている |
| 2. SDGs について対応・アクションを検討している |
| 3. SDGs の内容について知っているが、特に対応は検討していない |
| 4. SDGs という言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 5. SDGs について全く知らない(今回の調査で初めて認識した) |

問 29 貴事業所が現在取り組んでいる地域貢献・社会貢献活動について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 住民参加の祭り・イベントの実施や協力	2. 清掃活動の実施や協力
3. 交通安全運動への協力	4. 消防団・自主防災組織への協力
5. 文化・芸術・スポーツ活動への協力	6. ボランティア団体、福祉施設への支援
7. 環境保全・自然保護活動の実施や協力	8. 教育活動・PTA活動への協力
9. 青少年健全育成活動への協力	10. 児童に対する日常生活の支援
11. 高齢者に対する日常生活の支援	12. 従業員のボランティア活動への参加支援
13. 起業を目指す人への支援	14. 地域雇用の創出促進
15. 企業施設の地域への開放	16. 地場産品の活用促進(地産地消)
17. 地域の生産者との連携・協働	18. 特に取り組んでいない
19. その他()	

※協力や支援には、協賛や寄附など金銭的な支援を含みます。

問 30 吹田市の制度の認知度について、該当するものを選んでください。(それぞれ1つを選択)

【対象制度】	1. ほとんど知っている	2. 一部のみ知っている	3. 全く知らない
①融資制度※1	1	2	3
②補助金制度※2	1	2	3
③税制優遇制度※3	1	2	3
④相談・イベント※4	1	2	3
⑤商業団体への補助金制度※5	1	2	3

※1 融資制度…小企業者事業資金融資

※2 補助金制度…知的財産権取得事業補助金・展示会等出展事業補助金・エコアクション21認証取得事業補助金・ホームページ等作成事業補助金・中小企業人材育成支援補助金(中小企業大学校受講補助金)・企業立地促進奨励金・地元雇用促進補助金・地元企業発注促進補助金・企業定着型環境配慮事業補助金・地元企業等共同研究開発事業補助金・創業支援型事業所賃借料補助金・開業サポート資金融資等に係る利子補給金

※3 税制優遇制度…先端設備等導入計画認定・成長産業特別集積区域における成長産業事業計画認定

※4 相談・イベント…中小企業セミナー・経営相談(商業相談)・起業家交流会

※5 商業団体への補助金制度…商工業団体事業活動促進補助金、商店街等商業共同施設設置事業補助金、商店街等魅力向上促進事業補助金、商業活性化コンサルタント派遣事業補助金

※問 30 で「1. ほとんど知っている」「2. 一部のみ知っている」と回答された方にお伺いします。

問 30-1 知っている制度で活用していない理由について、該当するものを選んでください。
(それぞれ1つを選択)

【対象制度】	1. 活用したい制度がない	2. 活用したいが条件が合わない	3. 金額(恩恵)が少ない	4. 活用するのに手間がかかる	5. 制度の詳細を知らない	6. 支援を必要としていない	7. 活用していない制度はない (すべて活用できている)	8. その他 ()
①融資制度	1	2	3	4	5	6	7	8
②補助金制度	1	2	3	4	5	6	7	8
③税制優遇制度	1	2	3	4	5	6	7	8
④相談・イベント	1	2	3	4	5	6	7	8

問 31 公的支援機関の活用度・認知度について、該当するものを選んでください。(それぞれ1つを選択)

【公的支援機関】	1. 活用したことがある	2. 活用したことはないが知っている	3. 名前程度は知っている	4. 知らない
①吹田商工会議所	1	2	3	4
②大阪産業局	1	2	3	4
③大阪府事業承継・引継ぎ支援センター	1	2	3	4
④大阪府よろず支援拠点	1	2	3	4
⑤中小企業大学校	1	2	3	4
⑥ポリテクセンター関西(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部)	1	2	3	4

問 32 吹田市以外の補助制度の活用度・認知度について、該当するものを選んでください。
(それぞれ1つを選択)

【吹田市以外の補助制度】	1. 活用したことがある	2. 活用したことはないが知っている	3. 名前程度は知っている	4. 知らない
①事業再構築補助金	1	2	3	4
②ものづくり補助金	1	2	3	4
③IT導入補助金	1	2	3	4
④小規模事業者持続化補助金	1	2	3	4
⑤大阪府の補助制度	1	2	3	4
⑥NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の補助制度	1	2	3	4
⑦AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)の補助制度	1	2	3	4

※問 32 で「1. 活用したことがある」「2. 活用したことはないが知っている」と回答された方にお伺いします。

問 32-1 活用したことがあるが新たな活用を躊躇する理由、知っているが活用しなかった理由として、該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 金額(恩恵)が少ない	2. 申請書類作成等の時間を確保できない
3. 求められる成果の質が高い・量が多い	4. 申請から決定までの待機期間が長い
5. 補助事業終了後の継続的な報告(フォローアップ)対応	6. 税務手続き上の手間が発生する
7. その他()	

問 33 貴事業所の経営方針について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

1. 現状維持	} → 問 34 へ
2. 事業規模の拡大	
3. 事業規模の縮小	} → 問 34 へ
4. 廃業又は売却・譲渡	
5. 未定・わからない	→ 問 33-1 へ
6. その他()	

※問 33 で「4. 廃業又は売却・譲渡」と回答された方にお伺いします。

問 33-1 廃業又は売却・譲渡を予定している理由について、該当するものを選んでください。
(複数選択可)

- | | | |
|-----------------|-----------|-------------|
| 1. 仕事量の減少 | 2. 後継者の不在 | 3. 近隣住民との関係 |
| 4. 経営者の健康問題 | 5. 景気の低迷 | 6. 人材不足 |
| 7. 親会社・本社等の経営方針 | 8. その他() | |

問 34 貴事業所の重視する今後の取組について、該当するものを選んでください。
(複数選択可)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------------------|
| 1. 人材確保 | 2. 人材育成・研修 | 3. 商品・サービスの絞り込み |
| 4. 低価格化への対応 | 5. 高付加価値化 | 6. 新たな顧客層の開拓 |
| 7. 新たな店舗展開 | 8. 組織のスリム化 | 9. 業務内容改善等の効率化 |
| 10. 事業の多角化 | 11. 事業共同化 | 12. 業種転換 |
| 13. 営業力の強化 | 14. 研究開発の強化 | 15. 生産設備の強化 |
| 16. 環境・省エネルギー対応 | 17. 地域企業情報の入手・利用 | 18. 企業連携の強化 |
| 19. 大学、研究機関等との連携 | 20. 積極的な特許・資格等の取得 | 21. デジタル化の推進 |
| 22. テレワーク・在宅勤務の促進 | 23. 地域貢献・地域参加 | 24. 災害等リスクに対する事業継続対策(BCP策定など) |
| 25. 物流・輸送の合理化 | 26. サプライチェーンの強化 | 27. 特にない |
| 28. わからない | 29. その他() | |

問 35 貴事業所の今後の事業承継について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 事業承継を予定している → 問 35-1 へ | |
| 2. 創業当初から事業承継をするつもりがない | 3. 自分の代で事業をやめるつもりである |
| 4. 未定・わからない | 5. その他() |

→ 問 36 へ

※問 35 で「1. 事業承継を予定している」と回答された方にお伺いします。

問 35-1 貴事業所の後継者について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 親族内承継を予定している | 2. 従業員等への承継を予定している |
| 3. 外部人材を後継者に迎え入れる予定である | |
| 4. 後継者がいないので、会社譲渡・売却を予定している | |
| 5. 未定・わからない | |
| 6. その他() | |

問 36 貴事業所の今後の事業拠点について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. 現地において事業を継続 → 問 37 へ | |
| 2. 増設する予定 → 問 36-1 へ | |
| 3. 事業所の一部又は全部を移転する予定 → 問 36-2、36-3 へ | |
| 4. 未定・わからない | } → 問 37 へ |
| 5. 廃業の予定 | |
| 6. その他() | |

※問 36 で「2. 増設する予定」と回答された方にお伺いします。

問 36-1 増設する予定地について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | | |
|------------|---------|---------------|
| 1. 現地及び隣接地 | 2. 吹田市内 | 3. 大阪府内(吹田市外) |
| 4. 大阪府外 | 5. 海外 | 6. 未定 |
| 7. その他() | | |

※問 36 で「3. 事業所の一部又は全部を移転する予定」と回答された方にお伺いします。

問 36-2 移転する予定地について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|------------|---------|---------------|
| 1. 現地及び隣接地 | 2. 吹田市内 | 3. 大阪府内(吹田市外) |
| 4. 大阪府外 | 5. 海外 | 6. 未定 |
| 7. その他() | | |

問 36-3 移転する理由について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 事業規模の拡大 | 2. 事業所の老朽化 |
| 3. 事業所の集約 | 4. 周辺における関連企業の減少 |
| 5. 周辺における住宅地の増加 | 6. 周辺における交通事情の悪化 |
| 7. 近隣からの苦情等 | 8. 事業所賃料が高い |
| 9. その他() | |

問 37 商店街・近隣センター等における空き店舗問題に取り組む際に必要だと思われる行政等の支援について、該当するものを選んでください。(1つ又は2つを選択)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 空き店舗情報の迅速な広報 | 2. 新規出店者等の誘致 |
| 3. 家賃補助、改装補助などの支援措置 | 4. 専門アドバイザー等による指導 |
| 5. チャレンジショップの設置 | 6. 特にない |
| 7. その他() | |

問 38 商店街・近隣センター等に空き地があった場合、欲しい施設や良いと思う活用方法について、該当するものを選んでください。(1つ又は2つを選択)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 飲食業や小売業の商業施設 | 2. テナントビル |
| 3. 様々な業種の入った複合施設 | 4. スポーツ施設 |
| 5. 宿泊施設 | 6. 駐車場 |
| 7. イベント会場 | 8. ギャラリー展示スペース |
| 9. カルチャーセンター・教室 | 10. 特にない |
| 11. その他() | |

問 38-1 問 38 の回答の理由を記入してください。

--

問 39 吹田市には、健都地域(国立循環器病研究センター、国立健康・栄養研究所などが立地)や複数の大学(大阪大学・大阪学院大学・関西大学・千里金蘭大学・大和大学)がありますが、貴事業所への影響について、該当するものを選んでください。(1つを選択)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 良い影響を及ぼしている | 2. どちらかというが良い影響を及ぼしている |
| 3. 影響がない | 4. どちらかというと良くない影響を及ぼしている |
| 5. 良くない影響を及ぼしている | 6. わからない |

問 40 吹田市の産業活性化のために特に優先して取り組むべきことは何だと思われますか。該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | | |
|---------------------|----------------|--------------|
| 1. 駅周辺の整備・活性化 | 2. 商店街の活性化 | 3. 先端的な企業の誘致 |
| 4. 大学、研究所等の活用・誘致 | 5. 中小企業への支援の充実 | 6. 異業種交流の促進 |
| 7. 起業家への支援の充実 | 8. 吹田市の知名度の向上 | 9. 「健都」のアピール |
| 10. 吹田市内事業者に関する情報発信 | 11. CSR活動支援 | 12. SDGs取組促進 |
| 13. 特にない | 14. わからない | |
| 15. その他() | | |

問 41 吹田市に対して望む施策はどのようなことですか。該当するものを選んでください。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 融資制度による資金繰り支援 | 2. 補助金等による支援 |
| 3. 経営改善への支援(経営相談、専門家派遣等) | 4. 事業者同士の交流促進支援 |
| 5. 吹田市の施策のきめ細やかな情報発信 | 6. 国や大阪府等の施策の情報発信 |
| 7. 特にない | 8. その他() |

問 42 その他、国・府・吹田市に対して、今後の商工施策に期待すること、要望、お困りの点等、自由な意見をお書きください。